



## RESOLUTION No. 39) SWAZILAND

### 第39号決議) スワジランド

第29回国際公務労連 (PSI) 世界大会  
2012年11月27日－30日、南アフリカ・ダーバン

以下に留意する。:

- a) 新たに統一されたスワジランド労働組合会議 (TUCOSWA)と、中でも王族の抑圧的な支配にもかかわらず民主化運動を続けてきたPSI加盟組合がスワジランドの勇気ある重要な民主化運動をリードしてきたこと。
- b) 宗教団体、青年・学生・女性グループ、都市および農村部の地域組織など、市民社会組織を団結させる労働組合運動のイニシアチブとして、スワジランド統一民主戦線 (SUDF) が出現したこと。
- c) スワジ政権が、抑圧以外の方法で民主的勢力に関与することを拒否したこと。また、政権と、私欲で略奪した富への執着をなくそうとしなかったこと。
- d) 君主制の問題と、民主的なスワジ国家の性質は、スワジランドの国民自身が解決しなければならない問題であると認識する必要があること。
- e) スワジランド国民の大半が、危機に直面し続けていること。70%以上が1日1ドル (米ドル) 以下で生活し、実際にサービスを利用できずに極貧の状態にある一方、王族の長は世界で最も裕福な一人にリストされている。
- f) 一般的に、また特にアフリカ連合とSADCにおいて、各国政府は、民主的基準の順守をスワジランドに要求せず、また、抑圧を使ってスワジランドの政治問題を解決することができないことを訴える努力を怠った。
- g) スワジランドの国外で、PSI、ITUCアフリカを通じたスワジランド民主化キャンペーンの支援が拡大していること。また、メディアと人々の意識においてスワジランドを取り囲む「沈黙の壁」が突破されていること。

したがって、大会は以下を決議する。:

1. 全加盟組合と社会運動、ならびにすべての民主的勢力に対し、とくに労働組合に触発されたスワジランド統一民主戦線 (SUDF) の下で運動を行うスワジランド民主化キャンペーンを通じてスワジランドの民主化運動を支援するよう訴える。また、1973年から現在まで民主的権利が中断されてきたことを記憶に留める4月12日の年次行動、および9月に行われるスワジランドに関する世界行動週間を支援するよう訴える。
2. 民主的アジェンダを主張し、民主的なスワジランドにおける効果的な活動を準備するための能力開発を助けるため、姉妹組合であるNAPSAWUとTUCOSWAを支援する。
3. 可能な場合は、スワジランド民主化キャンペーンの支部を作り、上記の日時に合わせて行動を調整する。
4. PSIがスワジランドの民主主義を次期間の主要キャンペーンとし、各国政府、特にアフリカ連合とSADCにおいて、スワジ政権の非合法化を取り上げていくようにする。

行動プログラムおよび規約を含む大会決議 [Congress resolutions](#) を参照のこと